様式第２号

事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	保育園園舎等整備事業			コード	51207
２ 担当部課	部等	健康福祉部	課等	子ども課	作成者 秋山　仁志

３ 事業概要	目的体系 基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
	政　策	子育て支援	施　策	子育て支援の充実
	予算科目	保育園園舎整備事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし

●事業の実施内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		保育園において保育を行う児童とその保護者のために、保育園園舎等の施設整備を行うことで、保育環境の改善と施設の機能を高める。
目的	対象者	園児、保護者等
	意　図	保育環境の改善、施設機能の強化

５ 事業の必要性

＊事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由

「岡谷市保育園運営計画」及び「岡谷市保育園整備計画」に基づき、老朽化の進む園舎等について、児童の安全確保と保育環境整備のため、必要な改修を行う。

６ 事業の全体計画

＊各年度の取組計画

予定全体事業費	円	事業期間	H14～29年度
26年度まで	神明保育園大規模改修工事、今井保育園屋根大規模改修工事、神明保育園駐車場等整備工事、東堀保育園建設用地先行取得事業、あやめ保育園園庭芝生化工事、小口保育園給水加圧ポンプ取替工事		
27年度	特になし		
28年度	東堀保育園建設用地造成事業（用地持ち替え）		
29年度以降	東堀保育園建設工事（補助金）、西堀保育園建設用地造成事業、西堀保育園建設工事（発達支援センター含む）、園庭芝生化事業		

７ 事業の実施内容

＊各年度の進捗状況

26年度まで	神明保育園大規模改修工事、みなと保育園駐車場舗装工事、今井保育園屋根大規模改修工事、未満児室・給食室冷暖房機設置工事、園庭遊具整備工事、長地保育園アスベスト除去工事、長地保育園階段等改修工事、神明保育園駐車場等整備工事、今井保育園地上オイルタンク設置工事、みなと保育園中庭改修工事、成田保育園防火設備改修工事、東堀保育園建設用地先行取得事業、あやめ保育園園庭芝生化工事、小口保育園給水加圧ポンプ取替工事
27年度	特になし
28年度	東堀保育園建設用地造成事業（用地持ち替え）
前年度の課題への対応	平成30年の東堀保育園民間移管に向けて、造成工事及び用地の持ち替えを行った。このほか、西堀保育園整備にあたっての諸課題について検討した。

8 コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度まで(累計)	27年度	28年度	29年度(予算)
① 直接事業費		373,958,889	0	238,945,990	134,291,000
経常経費					
臨時的経費		373,958,889	0	238,945,990	134,291,000
＊臨時的経費の説明		工事費等の投資的経費　（平成28年度　新東堀保育園用地造成・取得）			
② 人件費			4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数（人）			0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト（①＋②）		373,958,889	4,000,000	242,945,990	138,291,000
前年度比				6073.6%	56.9%
財源内訳	一般財源	190,359,889	4,000,000	27,945,990	27,806,000
	特定財源	183,599,000		215,000,000	110,485,000
＊特定財源の説明		市債、国庫交付金			

●事業の評価（CHECK）

9 事業の進捗状況

区　分		26年度まで(累計)	27年度	28年度	29年度(予算)
進捗率	直接事業費の執行率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	その他の進捗率				
	＊その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	
今まで	（これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと） 老朽化の進む園舎等について、児童の安全確保と保育環境整備のため、必要な改修を実施してきた。多額な費用を要する施設整備の実施にあたっては、計画的な整備が求められていることから、平成24年度において「岡谷市保育園整備計画」を、平成26年度において、「岡谷市保育園民営化基本方針」を策定した。本計画及び方針に基づき、東堀保育園は民設民営、西堀保育園は公設公営の方針とし、東堀保育園に関しては（学）信学会による新園舎の建設に向け、整備を行った。
今後	（29年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること） 東堀保育園については、保護者に多様な選択肢を提供するため、民営化に移行し、認定こども園の整備を進める。民間法人により継続的な保育サービスの提供ができるよう、行政として必要な支援に努めるほか、円滑な移管のため引継ぎ保育を行う。 西堀保育園については、引き続き検討を深め、具現化に努める。

●改善の内容（ACTION）

10 今後の課題と対応策

今後の課題	（環境変化を考慮して事業を進めていく上で、29年度以降に課題になること） 保育園の効率的な運営と、保育環境の整備、さらには保育サービス・地域の子育て支援の拠点としての機能の充実を図るため、保育園整備計画に基づき、計画的な整備を推進する。 また、各保育園の施設状況を点検し、必要に応じて修繕工事を実施する。
課題への対応策	（上記の課題をふまえて29年度に実施する、具体的な対応方法） 東堀保育園については、平成30年度の認定こども園開園に向け、関係者等との協議、準備対応等を進める。 西堀保育園の整備に向けては、隣接地の武井武雄生家の扱い等の課題を整理し、早期の事業実施に向けた対応を進める。 また、全体の園児数は減少傾向にあるものの、未満児保育ニーズの増加や園児の偏在などの課題があることから、今後策定する保育園整備計画中期計画では、その対応策を織り込む必要がある。

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B